

状況と対策

青谷漁港海岸において、波浪による汀線後退がみられ経過を観察していたところ侵食が進行し続け、海岸保全施設の青谷防砂堤の基礎が露出した。背後には国道9号があり、更なる浸食が懸念される中、海岸浸食の進行を防ぎ防砂堤への被害を食い止めるため、大型の袋（ポリエステル繊維）に砂を詰めたものを設置する計画とした。今後は、青谷海岸への養浜についても検討の必要があると考えている。（※現在は再び砂浜を形成している。）

位置図
汀線後退 (侵食)
青谷海岸

平面図
袋詰め工 (拘束タイプ内布入り)
H8災害復旧事業実施 (階段式)
L=60m
国道9号

横断面
国道9号
青谷防砂堤
基礎
袋詰め工 (拘束タイプ内布入り) 6tタイプ
砂減少
海底
袋詰め工 (拘束タイプ内布入り) 2tタイプ
侵食・露出

以前
H30.7.30
国道9号

侵食後
R4.6.30
国道9号
防砂堤の基礎が露出

現在
R4.11.15

防砂堤
袋詰め工